

弊社は組織・人材開発事業以外に結婚相談所も運営している。私の中で二つの事業はつながっている。「働き方」を考える時、組織の中の問題の他に家庭や家族の問題で悩む人々と出会ってきたからだ。個人的に、結婚は人生に大きめのインパクトを与えるのではないかと思う。それはゴールではなくスタートであり、人々は時に価値観の違いに奮闘しながら、喜怒哀楽を共にし、人生時間を積み重ねる。

御社が働き方改革を進める中で、もし育児中の社員のフォロワーをいつも独身者がすることが常態化しているのなら、その働き方改革は道半ばかもしれない。長時間労働で、婚活の時間が取れなくなる方がいることもある。そのまま年を重ね「そろそろ婚活を」と思った時に、親の介護でタイミングが計れなくなる方もいる。婚活に限らず何かの自己実現に向けて「さあやるぞ」と思った時、私たちには「時間」が必要なのだ。

結婚後も同様、パートナーはどんな働き方をしたいと思っているのか。言葉にする前に、既に諦めていることはないか。女性活躍推進は素晴らしい。同時に男性の家庭活躍推進も必要である。誰もが自分の人生でやりたいことを諦めずに実現に向けて行動するには、自分がどんな生き方をしたいのかを整理し、大切な人々に話し、互いに協力し合える関係性を築けるかが鍵になる。

自分が「当たり前」に得られている特権」について、それが特権だと気付かないことも多い。そして得られていない人の気持ちには、気付きにくいといわれている。だからこそ聴こう。「大丈夫？」ではなく、「どんな時間が欲しい？」「どんなことに困ってる？」と。「お互いさま」の視点でサポートし合えると、もっと幸せがあふれる社会になるだろう。

(株式会社Life is Love
代表、組織開発コンサルタント)